



2021年度（第57期）

事業報告書

自 2021年 1月 1日

至 2021年12月31日

公益財団法人国立京都国際会館

目次

I 事業の概況

- 1.総論 P.1
- 2.業績 P.1
- 3.催事開催状況 P.2
- 4.主な取り組み P.4
 - (1) 新たなMICE開催の形
 - (2) 組織アップデート
 - (3) 施設設備の更新

II 法人の概況

- 1.法人概要 P.6
- 2.理事会及び評議員会等に関する事項
 - (1) 理事会及び役員に関する事項 P.7
 - (2) 評議員会及び評議員に関する事項 P.8
 - (3) 役員等候補選出委員会及び委員に関する事項 P.9

III 法人管理 P.10

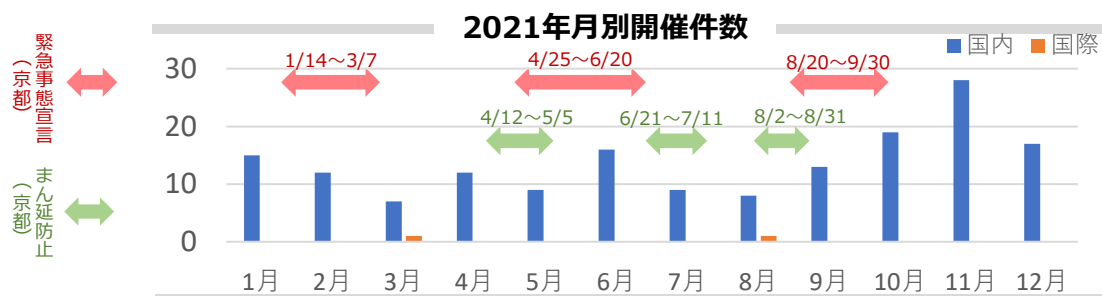
I 事業の概況

1. 総論

当期も断続的に緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が発出されるなど厳しい環境下ではありましたが、withコロナ時代のMICE開催を支えるべく、当館はより快適なネットワーク環境のための設備更新を行うと共に、GBAC STAR認証※1の取得を通じて更なる感染症対策の充実に取り組みました。

その結果、コロナ禍初となる国連薬物・犯罪事務所（UNODC）主催の国際会議「第14回国際連合犯罪防止刑事司法会議（京都コンgres）」をはじめコロナ禍の中でも、主催者の『催事を開催したい』という思いに応え、支えることで昨年に比べ多くの催事のご開催をお手伝いすることができました。

今後も主催者と共に歩み、コロナ禍においても主催者の思いを実現し続けてまいります。

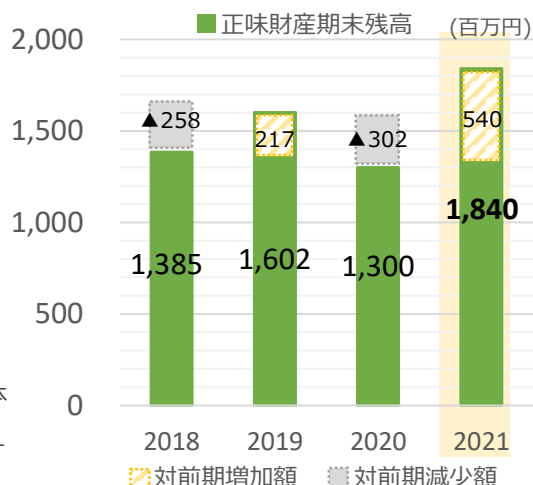
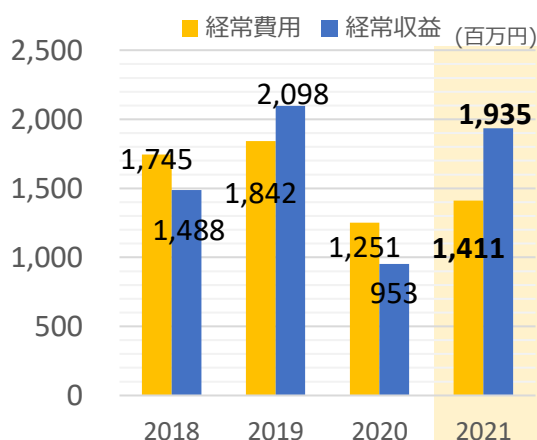


2. 業績

コロナ禍2年目であった当期は、感染対策を伴う運営体制が構築されるなど、withコロナ時代におけるMICE開催のノウハウが確立してまいりました。

これにより延期・中止となる催事が減少し、さらには京都コンgres開催による使用料収入が大きく寄与したことで、経常収益は1,935百万円（前年比982百万円の増収）、経常費用は1,411百万円（うち特定費用準備資金として57百万円を執行）となり、当期経常増減額は523百万円の増益となりました。

経常外収益を加えた当期正味財産増減額は540百万円の増額となり、結果、当期の正味財産期末残高は1,840百万円となりました。



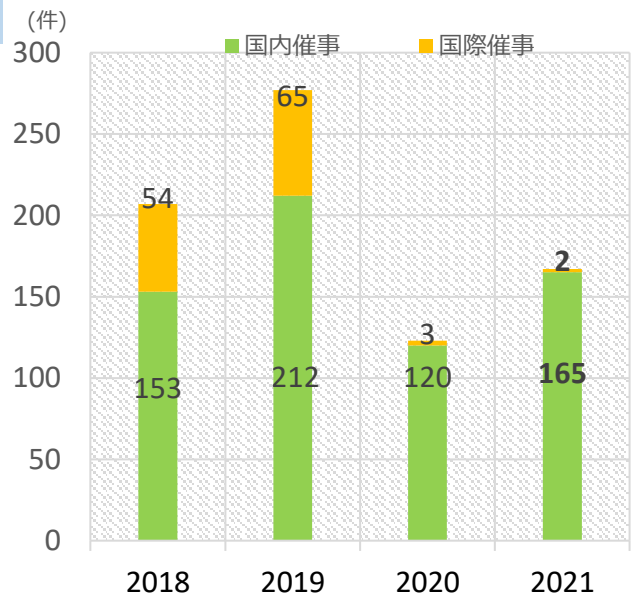
※1 GBAC STAR認証……清掃・消毒分野の世界的な業界団体 International Sanitary Supply Association の一部門である GBACによる認証プログラム。施設の洗浄、消毒、感染症予防に関する審査が行われ認証を受ける。

3. 催事開催状況

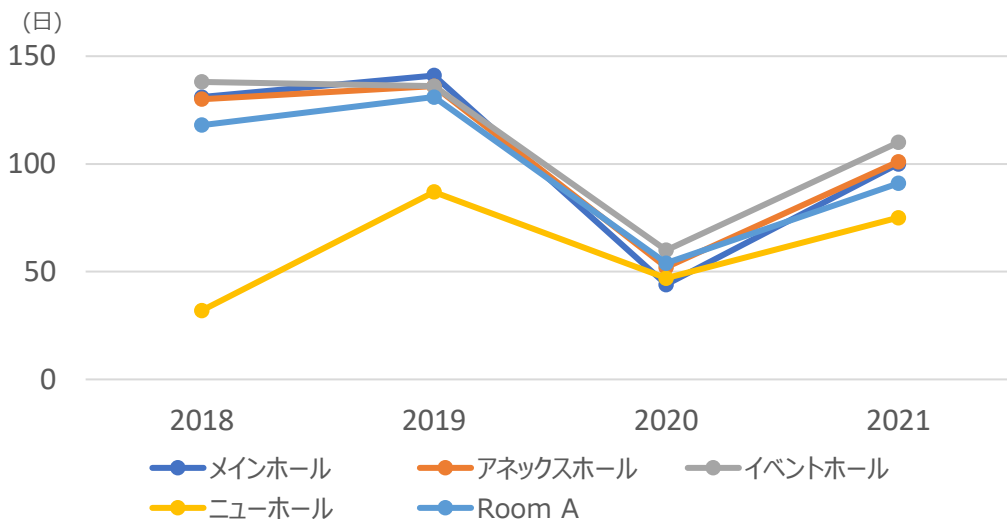
当期は「第14回国際連合犯罪防止刑事司法会議（京都コンgres）」「第62回日本神経学会学術大会」

「WOODRISE2021 in Japan」など、オンライン参加やLIVE配信を併用したハイブリッド形式を活用することで、主催者の『催事を開催したい』というニーズに応えてまいりました。

コロナ禍前の開催件数には未だ及びませんが、結果として1年を通して継続的に催事を開催頂くことができ、開催件数としては前年比約35%の増加となりました。



主な会議ホールの稼働日数



2021年に開催された主な催事

第14回国際連合犯罪防止刑事司法会議（京都コンgres）
3月7日～3月12日

第117回日本精神神経学会学術総会
9月19日～9月21日

第62回日本神経学会学術大会
5月19日～5月22日

第58回全国建設業労働災害防止大会（京都大会）
10月7日～10月8日

第58回日本リハビリテーション医学会学術集会
6月10日～6月13日

第118回西日本経済同友会会員合同懇談会
10月15日

第21回日本抗加齢医学会総会
6月25日～6月27日

WOODRISE 2021 in Japan
10月16日～10月17日

第76回日本消化器外科学会総会
7月7日～7月9日

Art Collaboration Kyoto
11月4日～11月7日

京都市コロナワクチン接種
9月11日～10月30日

WCRP創設50周年記念式典
11月24日

2021年に開催された催事の一部ご紹介

第62回日本神経学会学術大会

開催日：2021年5月19日～22日

主催：一般社団法人日本神経学会

参加者数(オンライン含む)：7,289名

ハイブリッド形式

「脳神経内科の使命-過去、現在、未来」をテーマとして、緊急事態宣言の中、現地開催に主体を置きつつ、コロナ感染症対策を徹底しながら、当館全館を使用して開催されました。最優秀演台賞表彰式では、京都の伝統芸能である京舞が披露されました。



WOODRISE2021 in Japan

開催日：2021年10月16日～17日

主催：一般社団法人国際建築住宅産業協会

参加者数(オンライン含む)：800名

ハイブリッド形式

WOODRISEは、中高層木造建築の発展を目指す国際的イベントであり、2021年は、持続可能な開発に向けた木の建築 ～伝統から未来へ～ のテーマのもと、木造建築技術の先進各国の取り組みの共有、また関係団体・企業の交流を深めることを目的として開催されました。展示会場には様々な木造建築物の展示が並び、各所で活発な意見交換が展開されました。



Art Collaboration Kyoto

開催日：2021年11月4日～7日

主催：Art Collaboration Kyoto 実行委員会

参加者数：5,797名

完全現地開催

「現代アートとコラボレーション」をテーマに京都で新たに始まるアートフェアで、現代アートに特化したフェアとしては日本最大級のものです。国内だけでなく、海外のギャラリーも含め50を超えるギャラリーが集まりました。一般の方々も多く来場されており、またコレクターにとっても非常に魅力的なアートフェアとなりました。



Photo Credit:
「Courtesy of ACK, 2021,
photo by Nobutada Omote」

4. 主な取り組み

(1) 新たなMICE開催の形

より手軽で快適なハイブリッド開催を提供

2021年はハイブリッド／オンライン開催が定着したことにより、通信設備をはじめより高度な技術が求められるようになりました。

そこで、主催者の負担を軽減しより快適なハイブリッド開催を実現するため催事専用回線（NURO光）を増設し、上下ともに1Gbpsの高速かつ安定した通信設備を整備しました。

また、手軽にハイブリッド形式を活用して頂けるよう「ハイブリッド会議プラン」を開始し、時代のニーズに適応したMICE開催の新たな選択肢を提供してまいりました。



2021年の感染症対策

清掃・消毒及び感染予防策が国際的な衛生基準を満たすことを証明するGBAC STAR Facility AccreditationをアジアのMICE施設で初めて取得しました。更に当館ガイドラインを策定し主催者と「感染対策チェックリスト」を共有することで、withコロナ時代の運営体制整備にも努めました。



オンライン会場視察をスタート

当館のご利用を検討されている方や、既にご利用が決定している主催者を対象に「オンライン会場視察」のサービスをスタートしました。専属担当者がオンライン会議ソフトを使って、各会場をリモートでご案内致します。加えて、本年度本格的に運用を開始した「オンライン申込み」により、コロナ禍でもスムーズな開催準備を進めて頂けます。



(2) 組織アップデート

組織の改編

コロナ禍を経た次代を生き抜くための組織力の向上を目指し、新たな3つの課（総合経営戦略推進課・広報課・ネットワーク技術管理課）を新設しました。中長期的な目線での経営戦略、及び広報戦略に基づく組織運営を行い、ニーズに合わせた最適なネットワーク環境整備をスピード感を持って進めることで、時代の変化に適応した事業運営を継続してまいります。

多様な働き方を整備

職員の感染回避のためのテレワーク勤務体制を整備しました。また、育児や介護等を理由にフルタイムで働くことが難しい職員のワークライフバランスの向上や、当館が今後も安定的に人材を確保することを目的とし、短時間正規職員制度を新設しました。

(3) 施設設備の更新

記念植樹を公募（修景事業4年計画の2年目）

植樹から55年が経過した樹木の老木化と、鹿の食害によって弱った樹木の更新が重要な課題となっています。周囲の自然に調和した魅力ある会議施設を後世に残すために、当館の日本庭園修景事業を4年計画で行っています。

2年目にあたる本年度は、当財団の敷地に梅や桜を植樹して頂ける方を公募した「記念植樹」の取り組みを含む、合計89本の植樹を行いました。



ニューホールプロジェクト委員会の発足（NHⅡ期工事※2）

ニューホールⅡ期建設に向け、当館事務局内にニューホールプロジェクト委員会を立ち上げました。今後も引き続き、設計条件やスケジュールに関する国及び、京都市と円滑な協議・調整を進めてまいります。



※2 NHⅡ期工事

5,000人収容の展示ホールを建設する計画のⅡ期工事です。Ⅰ期工事では、2018年10月にイベントホール北側に2,000㎡の展示ホールが建設されました。続くⅡ期工事では、同ホールを4,000㎡に拡張する予定です。

音響設備やネットワークなど各種設備の更新

映像・音響・情報のデジタルデータ伝送の中継基地となるメディアセンターの機器が老朽化していることに伴い、関係する各会場の設備改修を開始しました。また、電波法関連法令の改正に伴い、ワイヤレスマイクの更新（2カ年計画）をスタート、2022年度中の完了を目指します。



さらに館内の通信環境についても、2022年7月を目途とした5Gサービス開始に向けて工事を行っています。

コラム

広報誌のデジタル化

広報誌「ICC Kyoto」は、デジタルブック版として2021年よりリニューアルしました。当館で開催頂いた催事や、当館の取り組みを幅広い方に知って頂けるよう、より一層「見やすく」「分かりやすい」情報発信に努めてまいります。



ICC Kyoto Open Day ～STREET PIANO～

開催：12月18日～19日

当館の建築美と音楽の共演を、多くの皆様に楽しんで頂くためにストリートピアノ企画を実施いたしました。

2日間で282名の方にご来館頂き、多くの方にピアノの演奏や音色を楽しんで頂くとともに、その様子はSNSでも拡散され、ご来館者以外の方にも当館の魅力を発信することができました。



Ⅱ 法人の概況

1.法人概要

(1) 設立年月日

財団設立 1966年（昭和41年）1月31日

開館 1966年（昭和41年）5月21日

公益法人への移行2011年（平成23年）3月25日

(2) 定款に定める目的

国有の会議場施設の管理の委託等に関する特別措置法に基づき管理の委託を受けた国有の会議場施設を適切に管理し、効率的に運用することにより、国際相互理解を促進し、学術、科学技術、文化等の振興及び地球環境の保全等に寄与することを目的とします。

(3) 定款に定める事業内容

- 1) 政府又は政府間機関による国際会議、学術・科学技術会議等の誘致及び運営事業
- 2) 国際交流と日本文化の普及事業
- 3) 国立京都国際会館の施設管理事業
- 4) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

(4) 所轄官庁に関する事項

内閣府

(5) 主たる事務所・従たる事務所の状況

主たる事務所：京都府京都市左京区岩倉大鷲町422番地

従たる事務所：東京都千代田区永田町2-14-2 山王グランドビル419

2.理事会及び評議員会等に関する事項

(1) 理事会及び役員に関する事項

①理事会

会議の区分	会議の日時・場所	会議の目的事項
第113回理事会	2021年3月15日 午後1時30分～午後2時30分 当館Room A及びオンライン	第1号議案 2020年度事業報告（案）及び 決算（案）の件 第2号議案 特定費用準備資金等の計画変 更の件 第3号議案 2021年度補正予算（案）の件 第4号議案 第31回評議員会開催招集の件
理事会 （書面表決）	2021年4月21日	第1号議案 評議員会（書面）招集の件
第114回理事会	2021年12月14日 午後1時30分～午後2時30分 当館Room A及びオンライン	第1号議案 2022年度事業計画書（案）及 び収支予算書（案）の件 第2号議案 事業区分の変更認定申請の件 第3号議案 職員就業規則の改定（案）の件

②役員の異動について

氏名	異動年月日
松下 正幸	2021年3月30日 退任
上村 多恵子	2021年3月30日 重任
塚本 稔	2021年3月30日 重任
藤崎 一郎	2021年3月30日 重任
堀木 エリ子	2021年3月30日 重任
堀場 厚	2021年3月30日 重任
湊 長博	2021年3月30日 重任

③役員氏名

※理事長、副理事長、常任理事、理事、監事の順に五十音順

役職名	氏名	役職名	氏名
理事長	明石 康	理事	藤崎 一郎
副理事長	村田 純一	理事	堀木 エリ子
常任理事	内田 俊一	理事	堀場 厚
理事	上村 多恵子	理事	湊 長博
理事	門川 大作	理事	山極 壽一
理事	塚本 稔	監事	西田 憲司
理事	塚本 能交	監事	彦惣 弘
理事	西脇 隆俊		

理事長1名、副理事長1名、常任理事1名、理事10名、監事2名（2021年12月末日現在）

(2) 評議員会及び評議員に関する事項

①評議員会

会議の区分	会議の日時・場所	会議の目的事項
第31回評議員会	2021年3月30日 午後1時30分～午後2時30分 当館Room A及びオンライン	第1号議案 2020年度決算書（案）の件 第2号議案 理事選任の件 第3号議案 評議員選任の件 第4号議案「役員等候補選出委員会規則」 改定の件
評議員会 （書面表決）	2021年6月2日	議案 井上正幸評議員、吉村彰彦評議員を 役員等候補選出委員会委員に選任する件

②評議員の異動について

氏名	異動年月日
井村 裕夫	2021年3月30日 退任
真砂 靖	2021年3月30日 退任
岩井 一宏	2021年3月30日 新任
百嶋 計	2021年3月30日 新任

③評議員氏名

※五十音順

役職名	氏名	役職名	氏名
評議員	阿南 史代	評議員	清野 智
評議員	池坊 専好	評議員	千 容子
評議員	石毛 博行	評議員	手嶋 龍一
評議員	井上 正幸	評議員	寺島 実郎
評議員	岩井 一宏	評議員	中尾 一和
評議員	内海 義雄	評議員	服部 重彦
評議員	大倉 治彦	評議員	百嶋 計
評議員	岡田 憲和	評議員	廣瀬 茂夫
評議員	小倉 和夫	評議員	三木町 宣行
評議員	柏原 康夫	評議員	山下 晃正
評議員	齋藤 修	評議員	吉村 彰彦
評議員	酒井 伸一		

評議員23名（2021年12月末日現在）

(3) 役員等候補選出委員会及び委員に関する事項

①役員等候補選出委員会

区分	日時・場所	会議の目的事項
第13回役員等 候補選出委員会	2021年2月3日 午前10時30分～午前11時30分 当館Room B-1及びオンライン	第1号議案 理事候補者選出の件 第2号議案 評議員候補者選出の件

②委員の異動

氏名	異動年月日
井村 裕夫	2021年3月30日 退任
真砂 靖	2021年3月30日 退任
井上 正幸	2021年6月2日 新任
吉村 彰彦	2021年6月2日 新任

③委員氏名

※五十音順

役職名	氏名
委員	池坊 専好
委員	井上 正幸
委員	岡田 憲和
委員	齋藤 修
委員	服部 重彦
委員	山下 晃正
委員	吉村 彰彦

委員7名（2021年12月末日現在）

Ⅲ 法人管理

公益1：政府または政府間機関による国際会議、学術・科学技術会議等の誘致、運営及び会議場施設の管理に関する事業

2021年度開催件数：102件（内訳：国内100件、国際2件）

前期に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けたものの、感染症対策の充実やワクチン接種の進展もあり、前期比約35%の増加となりました。

公益2：国際交流と日本文化の普及に関する事業

新型コロナウイルス感染拡大の影響により開催中止しました。

収益1：公益目的事業に該当しないその他の催事に関する事業

2021年度開催件数：65件（国内）

国際会議等が開催されていない期間については、企業の式典や大会、顧客への展示会など公益目的以外の催事を誘致、運営し、効率的な施設運営に努めました。

収益2：飲食・宿泊、売店及びたばこ小売販売に関する事業

会議参加者の利便性向上のため飲食店舗、宴会場及び宿泊施設を当会館内に設置し、運営委託先と連携して効率的に事業を進めています。

収益3：有料駐車場及び地下鉄連絡通路広告に関する事業

会館利用者のための有料駐車場や、会議参加者のための地下連絡通路の広告掲載スペースの収入を得て、施設の維持管理費用の一部を賄っています。